

Vol.19(2021) No.03(03/04)L05

Covid-19入院患者におけるレムデシビルの有効性と安全性:システマティックレビューとメタアナリシス(ネットワークメタアナリシスを含む)

[Efficacy and safety of remdesivir in hospitalized Covid-19 patients: Systematic review and meta-analysis including network meta-analysis](#)

Elsawah HK, Elsokary MA, Abdallah MS, et al.

【Rev Med Virol. 2020 Oct 31:e2187】-peer reviewed(査読済み)

(要旨)

レムデシビルは、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2(SARS-CoV-2)を含めて広域スペクトルの活性を示す抗ウイルス剤である。COVID-19でのレムデシビルの有効性を調査する臨床試験は相反する結果を報告している。この研究では、利用可能な最良のエビデンスを系統的にレビューし、結果を統合することを目指した。2020年10月12日までの候補研究をいくつかの電子データベースで検索した。組み入れ基準にもとづいてメタアナリシスに適合する研究を選択した。主要評価項目は回復率および死亡率で、副次評価項目はレムデシビルの安全性プロファイルである。主な効果測定値は率比(RR)および率差(RD)とし、臨床試験4報および観察研究1報を組み入れた。レムデシビルによる10日間の治療で、14日目におけるCOVID-19重症患者の回復率が50%増加(RR 1.5;95%CI[1.33~1.7])、28日目における中等症および重症患者の回復率が14%増加した(RR 1.14;95%CI[1.06~1.22])。さらに、レムデシビルは14日目の死亡率を全患者で36%減少させたが(RR 0.64;95%CI[0.45~0.92])、28日目では減少はみられなかった(RR 1.05;95%CI[0.56~1.97])。非機械的人工呼吸管理を受けた患者では、14日目の回復率(RR 0.3;95%CI[0.13~0.7])および死亡率(RR 2.33;95%CI[1.24~4.4])において、レムデシビルの治療効果が良好であった。レムデシビルは重篤な有害事象を6%減少させ、グレード3または4の重大な有害事象は報告されなかった。パンデミックのこの初期段階では、入院中のCOVID-19患者にレムデシビルを安全に投与できるというエビデンスがある。レムデシビルは中等症および重症の患者の回復率を改善するが、最適な効果が得られるのは、重症であるが人工呼吸器を装着していない患者においてである。